

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月12日更新

事務事業名		外国語指導助手配置事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	3	教育の健幸		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	末永 舞
	施策	9	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名	坂本 幸
	業務分野	31	学力の向上、徳育・体育の推進		所属班	総務施設班	(内線)	5315
予算科目		会計一般	款10	項1	目1	事業連番11595	法令根拠	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	3名の外国語指導助手(ALT)を市内小中学校に派遣し、生徒の英語力の向上及び国際感覚を育むことに繋げ、また、児童に英語への興味を抱かせることにも活用する。(令和元年度より委託契約から派遣契約に変更)週4回程度ALTを各学校に派遣している。(月のうち、3週は中学校、1週は小学校)
【業務の流れ】	①業務基本契約(3年間)を締結 ②受託者から派遣された外国語指導助手により英語指導 ③4ヶ月に1回程度、指導方針等のミーティング ④毎月の委託料の支払い ※業者選定については、3年ごとに総合評価方式により決定する。
【主な予算費目】	委託料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

外国語指導助手(ALT)3名を市内小中学校に派遣し、外国語授業の助手として活用し児童生徒の英語力向上に努めた。
 【派遣頻度：中学校(月8~12回程度)、小学校(月1~2回程度)】
 また、公募型プロポーザル方式による事業者選定を行い、令和7年度から派遣人員を5名に増員する契約を新たに締結した。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

外国語指導助手(ALT)5名を市内小中学校に派遣し、外国語授業の助手として活用する。

③予算の主な増減の理由

【拡充事業】外国語指導助手(ALT)の派遣人員を増員したことに伴う委託料の増

成果指標

(単位)

データ取得方法

→ ALTの派遣により外国語に関する学力の向上等に成果があると回答した学校の割合: %

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	%		100	100	100	0	100	100	100	100
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	14,058	14,058	14,058	14,058	14,058	14,058	14,058	14,058
(A)事業費計	千円	14,058	14,058	14,058	14,058	14,058	14,058	14,058	14,058	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

事業としては現在の内容で(方式)により今後も継続していくものとする。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)